

発行日:平成18年3月18日

発行所:法雲寺



もう直ぐ月遅れの「雛祭り」

東林山 法雲寺

〒667-1311兵庫県美方郡香美町村岡区村岡2365

TEL:0796-98-1151・1161 FAX:0796-98-1168

法雲寺報

<http://www.houun.net> Eメール:kouryu@houun.net

春までもう少し

3月に入り雪解けも大いに進んでいたのですが、お彼岸前の降雪で再び雪景色。村岡で春を実感できるまではもう少し時間がかかるようです。

この冬の豪雪ぶりはニュースなどでご存知の通りですが、新潟ほどではありませんが但馬も早い時期からの大雪に苦しめられました。12月初旬



まだまだこんな感じです(3/16)

に降り出した雪は淡いポタン雪ではなく、冬本番でも余り無いサラサラの粉雪。「まあ、大して積もらないだろう・・・」と思って、境内の植木も初雪が一度溶けてから雪囲いをしようと思っていたのですが、結局、初雪は溶けることなくそのまま根雪となり、植木の雪対策はぜんぜん出来ませんでした。

年末に降った大雪は村岡では150センチに迫

り、何時もより早い時期からの本格的な降雪で生まれて初めて、12月なのに屋根に上って雪下ろしをしました。正月明けも大雪が続き積雪量も2メートルに迫り、この調子で1～2月と降り続くのか？と不安を抱いたものです。それでも1月中旬以降は降雪の勢いも弱まり、お寺の建物も大した被害も無く春を迎えることが出来ました。大雪の最中、雪の片づけを手伝っていただきました皆様、有難うございました。

3月初旬に山上にある廟所などを見て回ったのですが、幸いなことに瓦がずれる程度のことで大きな被害は無かったようです。



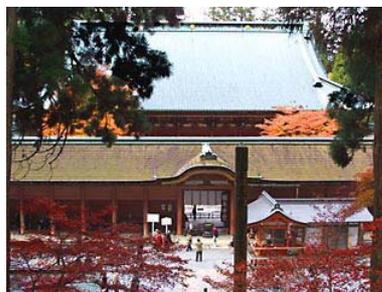
雪の重みで瓦がずれてしまいました。

(一二峠廟所)

お彼岸で村岡にお墓参りに来られる方もあると思いますが、所によりまだまだ多くの雪が残っていますので、そのおつもりでお越しください。

比叡山参拝のご案内

天台宗開宗1200年を記念して、比叡山参拝を企画いたしております。今回の参拝では比叡山を開かれた伝教大師の廟所参拝、阿弥陀堂での各家歴代回向及び、大原周辺の寺院参拝等も盛り込んだ旅程となっています。



比叡山延暦寺の中心「根本中堂」

また、遠方の檀家さんにも参加していただけるように、京都駅で合流出来るようにコースを考えています。

日本仏教の母山といわれます比叡山です。

お若い方も是非ご参加頂き、日本の精神文化の源泉に触れてみてはいかがでしょうか？多くの皆様でお参りできますよう、ご参加お待ちしております。



伝教大師廟所「浄土院」

記

期日:平成18年10月12～13日

(新装延暦寺会館宿泊)

参加費:¥26,000円

(京都から参加は割引有り)

旅程:村岡→和田山→京都→比叡山→宿舎
宿舎→大原周辺観光→京都→帰路

皆様には詳しい旅行案内を後日、お送りいたします。

「情報社会」の危うさ

何時の頃からか子供達の遊びの中心はコンピュータゲーム。脇目も振らず、瞬きさえも忘れて画面上に表示される標的を追い、コンピュータの中で繰り広げられる世界に没頭する。日常よく目にする光景です。「画面の中の世界でのみ遊び、自然の中で体を使って遊ばなくなった子供達はどのように育つのだろう」と心配する大人達の声をよく耳にしますが、子供達のことを心配している場合でしょうか？大人達は、この社会は大丈夫でしょうか？

IT(アイティー)社会と言われ、社会のあらゆる職場がコンピュータ化され、勤務時間の大半は画面とにらめっこ。時折、顔もまともに見たことも無い取引先や上司から仕事の指示がメールで届き、その対応に追われる日常。携帯電話で24時間、必要以上に連絡を取り合い、人と会っている間でも、うつむいてメールの返事を打っている。そうでもしないと落ち着けない？。気にかかるのは実際の仕事の完成度より、各自のパソコン内の処理の方・・・

IT社会において、仕事で一番重要なのは回ってきた課題を自分の担当分だけ手早く処理して、即座に次の人に回すこと。仕事の全体像を誰もが把握できず、仕事の結果に対しては誰もが無関心・無責任。

子供達より大人達の方が、コンピュータや携帯電話に依存し、目的を見失った日々を過ごしているのではないのでしょうか？

最近話題になった耐震偽装問題等は正にこの典型ではないのでしょうか？無理難題のコスト削減で、弱々しく地震に耐えられない設計となる。そのため地震で建物に掛かる想定圧力を弱く加減して、設計上



耐震偽装で閉鎖されるホテル

の整合性を繕う。まさにゲームの難易度を下げて遊ぶのと同じ。建物に掛かる想定圧力を弱くすれば、弱々しい設計でも理論上は持ちこたえることが出来る。しかし、それは設計士自身が使っていたパソコン内だけの話。実際の地震は手加減してくれません。

「必ずクレームが付く、それを理由に変更すれば良い・・・とにかく今は先方の要求通りに書いて、手放そう」と思ったのか？貧弱な設計図を次の人に手渡すと、何の疑問も無く弱々しい設計のまま実際に建

物が出来てしまった・・・一番驚いたのは設計士本人かも知れません。

便利この上ない情報化社会と言われていますが、迅速・効率的と言った恩恵の反面、目先の結果を急かされ、本来の目的を忘れ去っているのではないのでしょうか？

IT社会においては「情報と言う無形の物のみ価値を持ち、利益に結びつく」。もし、そんな世の中ならば、ライブドアの如く、都合の良い情報のみを作り上げ、世間にばら撒いて、虚構の評判や人気を利用して人々から資金を出させるとか、振り込め詐欺のように鼻から嘘を言ってお金を搾り取る等の方法が「一番効率的な方法」と考える人も多く出てくるでしょう？相手の顔も見えない世界ですから罪悪感も薄らぎます。

人は有史以来、数々の道具を作ってきました。また人は手にした道具により、生活や考え方・行動を変化・進化させて来ました。

そんな意味では現代は情報も重要な「道具」の一つです。そうであれば四六時中機械にのめり込んで、ただ単に処理の手早さを競っただけの情報ではなく、時に手間をかけ、確かな実態と目的を持った道具を手にしたいものです。

今後益々、悪意を持った情報が世の中に満ち溢れる事でしょう。受け手としても送り手としても「道具」に過ぎない情報に振り回されぬよう、広い視野と豊かな人生経験に基づいた判断が求められように思えます。

(駄文・偏文お許し下さい)

ひがんえ

お彼岸会のご案内

お彼岸の中日に皆様と共に勤めを行いたいと思います。お時間がある方はお参り下さい。

期日：平成18年3月21日(火)午後7時半～

会場：法雲寺本堂

(雪のため玄関よりお入り下さい)

